

シニア層の健康支援学ぶ

釧路新産業創造研究研修会

【釧路発】サンエス電気通信㈱（釧路市）の宮田昌利社長が会長を務める釧路新産業創造研究会は11日、釧路市内のセンチュリーキャッスルホテルで第17回研究会を開催した。宮田会長をはじめ約40人が参加。釧路地域における健康寿命延伸サポート事業や未病ケア観光事業の可能性について聴講した。

研究会では、ホストンス

トラティックスの小野光則代表が健康寿命延伸サポート「未病診断ケアシステム」について事業提案した。釧路市の人口統計や将来推計人口に触れ「このままでは近い将来、釧路は寂れた道東の一漁港になってしまう」と喚起し、働き手問題解決に向けたシニア層の健康サポートを提案。単一ビジネスではなく、1次・2次産業の全てを巻き込む新たな産業とすることで「様々な業界が関わることで、広く興味を持たれる産業になるのでは」と期待した。ほか、釧路市における未病診断ケアシステムを構築し、国内シニア層の関心が

高い健康・旅行・クルーズを充実させることで、観光ビジネスへの応用の可能性もあると紹介した。

また、㈱アドバンスの白井博隆代表取締役が「釧路市における健康と経済の相関関係」と題して講話した。健康が経済に与える影響について、健康を改善することによる経済への波及効果を説明した上で「釧路市のような人口減少地域においては、健康による生産性・自立支援が、地域経済の維持に不可欠」と強調。

健康増進のための取組を進めることは、雇用創出や地域ブランドの確立に寄与すると話した。

このほか㈱EFEの岡村俊二代表取締役が釧路におけるユークレナ培養試験実施について報告。今月下旬



釧路新産業創造研究研修会
サンエス電気通信㈱ 宮田昌利社長

サンエス企業グループ代表 宮田昌利が会長を務める「釧路新産業創造研究会」の関係記事です

9月13日付の北海道建設新聞にも同様の記事が掲載されました